

# MobileIron Docs@Work:

## セキュアなコンテンツ管理で モバイル生産性を向上



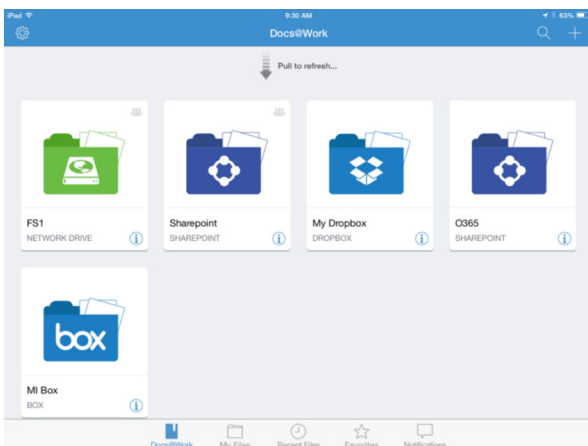
企業の生産性は、顧客のアカウント、医療記録、金銭取引など、あらゆる種類のコンテンツに高い信頼性でアクセスできるかどうか大きく依存しています。デバイス、ネットワーク、アプリ、クラウドサービス上のコンテンツへのセキュアアクセスを提供するには、次のようなことが必要です。

- SharePoint、Office 365、Dropbox、その他の企業クラウドリポジトリに保存したファイルへのシームレスなアクセスを提供する。
- メール添付ファイルが無許可に共有できないようにする。
- 企業データを侵害することなく、ユーザーがコンテンツをセキュアに閲覧、編集、共有できるようにする。
- ユーザーにセキュリティ対策の負荷をかけずに情報漏洩防止(DLP)制御を実行する。

MobileIron Docs@Workアプリでは、ユーザーが、メール、SharePoint、その他のオンプレミスやクラウドリポジトリの文書にアクセスし、注釈付け、共有、表示を簡単に実施できます。DLP制御で無許可のファイル共有を防止するとともに、ユーザーがモバイルデバイスで簡単に文書をダウンロード、編集、共有できるようにします。

### 主な利点

- クラウドリポジトリへのセキュアな文書保存およびアクセス。
- 企業のメール添付ファイルが無許可のアクセスから保護。
- SharePointやOffice 365などのクラウドサービス用のセキュリティポリシーを作成および更新。
- VPN専用機能なしにセキュアなモバイルアクセスが可能。
- 移動中のユーザーでも文書の編集、注釈付け、アップロードが可能。
- オフライン閲覧用にコンテンツをデバイスにプッシュ。
- ユーザーが最近使用したファイルやお気に入りの文書を複数のデバイスで同期し、簡単にアクセス可能。



### MobileIronについて

MobileIronは、世界のあらゆる規模の企業に対し、新しい働き方に必要なセキュリティの基盤を提供します。詳細は[www.mobileiron.com](http://www.mobileiron.com)をご覧ください。MobileIronの営業担当者にお問い合わせください。

## 機能

### セキュアなコンテンツハブ

MobileIronのDocs@Workは、エンドユーザー企業の文書にアクセスして管理するためのセキュアなコンテンツハブをモバイルデバイス上で提供します。エンドユーザーはデバイス上でファイルをセキュアに閲覧したり保存したりできますが、そのファイルはデバイスの紛失やコンプライアンス違反の際には削除対象にすることができます。

### メール添付ファイル制御

エンドユーザーは、モバイルデバイスでネイティブメールアプリを頻繁に利用しますが、その際にファイルが無許可のユーザー、アプリ、クラウドサービスと共有されるリスクがあります。MobileIron SentryインテリジェントゲートウェイとDocs@Workを組み合わせれば、サードパーティのメールソリューションなしに、メールの添付ファイルを保護することができます。メールの添付ファイルが、スキャンとフィルタリングの対象になります。オープンイン機能も制限し、Docs@Workだけで添付ファイルを開くように制御することができます。

### コンテンツリポジトリアクセス

Docs@Workは、SharePoint、Office 365、OneDrive for Business、Box、Dropbox、その他のクラウドベースのリポジトリへのセキュアアクセスを実現します。モバイルIT管理者が企業のアクセスポリシーを作成して適用することで、ユーザーがモバイルデバイスでコンテンツにセキュアにアクセスし、閲覧、編集、ダウンロードできるようにします。IT管理者は、クラウドアクセスを一括管理し、ユーザー名やディレクトリパスを事前設定することでプロビジョニングのセキュリティを確保することも可能です。

### セキュアな自動トンネリング

シングルサインオン (SSO) とDocs@WorkのAppTunnelがあれば、コンテンツへのアクセスはセキュアで簡単になります。ユーザーは、VPN専用アプリがなくても、企業ファイアウォールの内側にあるコンテンツリポジトリにシームレスにアクセスできます。

### 文書編集とアップロードの統合

Docs@Workを利用すれば、コンテンツリポジトリからダウンロードしたり、メール添付ファイルから保存したりした文書をユーザーが簡単に編集し、注釈を入れることができます。モバイルデバイスで編集した文書は、セキュアに保存、同僚と共有、あるいはリポジトリに再アップロードできます。Docs@Workは、PDFおよびPDF以外の文書タイプの注釈付けにも対応します。

### 公開済みサイト

Docs@Workの公開済みサイト機能では、コンテンツ管理者が、重要なコンテンツをユーザーのデバイスへプロアクティブにプッシュできます。公開済みコンテンツはセキュアに保存および同期されており、オフラインで閲覧が可能です。管理者は、企業のディレクトリグループのメンバーシップなど、デバイスやユーザーの各種特性に基づいて、配布するコンテンツやリポジトリの場所を選択できます。

### コンテンツの同期

ユーザーは、複数のデバイスで最近使ったファイルやよく使うファイルを簡単に同期できます。たとえば、ユーザーがiPhoneでDocs@Workにログインし、あるドキュメントを「お気に入り」にすると、Docs@Workの管理下にあるすべてのデバイスで自動的に同期されます。そのドキュメントはオフラインでも利用できます。